

2018/7/6

社会教育委員等研修会報告

新潟市社会教育委員 岡 昌子

1. 研修Ⅰ 講義(10:30~12:00)

会場：長岡市中央公民館

テーマ：「社会教育委員の役割と全国大会招致の意義」

講師：坂本 登（前全国社会教育委員連合 常務理事）

① 都道府県組織の設立の経緯

北海道(昭和31年9月)設立から全国組織の設立(昭和38年6月)へ
新潟県は53年の歴史がある

② 全国社会教育研究大会の推移

(1) 開催の経緯

文部省主催(昭和25年)文部省、東京都、全社連共催(昭和34年)
自任意団体として開催(昭和38年)法人として開催(昭和58年)
平成23年から現在まで一般社団法人「全国社会教育委員連合」が開催

(2) 全国大会開催の意義

これまでの成果

社会教育委員の一体感の高揚・認知度の向上・成否のカギは行政とコラボ

(3) 近年の全国大会開催県の工夫

③ 社会教育委員が社会教育委員であるために

(1) 制度の意義と特徴

(2) 社会教育の原理・意義と必要性

(3) 社会教育委員(会議)の実践事例に学ぶ

2. 研修Ⅱ 事例発表とワークショップ(ワールドカフェ)(13:00~15:25)

事例発表：「出雲崎町の社会教育について」

講師：磯部 友記雄(出雲崎町社会教育委員長)

事例発表：小、中学校の9年間をかけ、郷土学習として良寛にゆかりのある事柄を学ぶ。(史跡・人物・書画等)昭和62年から芸大生を招待し街並みスケッチ画合宿を行っている。出雲崎総合大学(生涯学習講座)の実施。

ワークショップ：「どんな全国大会を新潟から発信できるのか」

ワールドカフェ方式で3組のメンバーと話し合いを行った。2年後に開催される全国大会のイメージ、スローガン、講演会、分科会のテーマ等自由に意見交換をし、模造紙にまとめた。突然投げられたテーマに少し躊躇しましたが、初対面の方々の話が聞けて勉強になりました。